



# せの喜代の 区議会ノート

区議会での会派は民主党・市民の会です

2011・秋  
第38号

介護  
子育て  
環境

<http://senokiyo.sakura.ne.jp/> ホームページは【せの喜代】で検索してください

〒116-0013 荒川区西日暮里2-13-8 TEL/FAX:03-3891-0203 E-mail:senokiyo@yahoo.co.jp

区議会ノートあるいはミニ通信を本会議開催ごとにお配りしています。毎号の購読をご希望の方はぜひご連絡ください。ホームページは随時更新していますので、こちらもぜひ、ご覧ください。

## こどもの貧困対策～貧困の連鎖を食い止めよう こどもの学習支援・居場所づくり 区の取り組みが始まります



この2年間、議会の度に質問を重ねてきた「こどもの貧困」。昨年から私個人で始めた中3無料塾は、こどもの貧困問題に取り組む全国ネットワークやNPO多文化共生センターの協力を得て、あらかわ文化村こども支援塾として、なんとか先生を確保しながら継続してきました。第3回定例議会の決算委員会の質疑で、区が来年4月からの支援を行うという回答を得ることができました。

区内で、塾の講師や、元教員が、NPO多文化共生センターと協力して、こどもたちの学習支援を昨年から継続している。こどもの進学を支援し、高校中退を防ぎ、貧困の連鎖を断ち切る観点から、学習支援の活動への区としての支援を検討すべきではないか。

(子育て支援部) 支援を行いたい。

生活保護家庭の塾へ行く割合が、一般家庭の半分という現状では貧困の連鎖を断ち切れぬ。NPOの学習支援の活動と連携する必要があるのではないか。

(福祉部) 連携を取り、学習支援に取り組む。

→ p.2 に続く

## こどもを放射能から守ろう ～食品の被曝の状況も情報公開すべき

荒川区もようやく空間放射線量の測定を行うことになった。しっかり対応してもらいたい。

私達は放射能とつきあって生きていかざるをえない。東京の被曝の程度だと、大人はおそらく大丈夫といわれている。しかし、子どもの被曝については、「東京から避難した方がいい」「食べ物に気をつけた方がいい」「問題がない」等々、専門家の中でも見解が分かっている。

チェルノブイリ原発事故後1年間のオーストリア人の被曝の8割は食品だったという調査がある。食品汚染が問題なのだ。

→ p.4 に続く

被曝量の8割は食品から



食品

大気

地面

放射能